

薄暮時間帯・夜間の交通事故削減へ

# 服装“見えやすさ”診断 見えチェック

JA共済 × TOYOTA mobility FOUNDATION

ティモンディも試してびっくり!  
あなたの“見えやすさ”は大丈夫?

服装によって、薄暮時間帯は見え方がこんなに変わります。  
無料診断中! ぜひご体験ください。



写真を撮って  
すぐに判定。  
診断表を  
お渡しします!



知っていますか?



自動車と歩行者が衝突する死亡事故が  
最も多く発生しているのは  
**薄暮時間帯です。**  
(17時台から19時台)

出典:警察庁webサイト「薄暮時間帯における死亡事故に係る分析～時間帯別・月別の死亡事故件数～」より  
【注】薄暮時間帯とは、日没時刻の前後1時間をいいます(日没時刻は、月日や都道府県により異なります。)

「JA共済連」と「トヨタ・モビリティ基金」は、  
薄暮時間帯・夜間の交通事故削減に向けて歩行者がドライバーからどのように  
見えるのかを診断できるソフトウェア「見えチェック」を共同で開発しました。  
「見えチェック」の体験活動を通じて、明るい服装や反射材着用を促進し、  
交通事故ゼロを目指していきます。



## 距離や時間帯でドライバーからの見え方が大きく変わる!?

### 服装の“見えやすさ”を診断する「見えチェック」

「見えチェック」では、服や身体に当たった光がどの程度反射するかを表す「反射率」を上半身と下半身でそれぞれ測定し、光が当たっている箇所の明るさを表す「輝度」を算出することで、薄暮時間帯での服装の“見えやすさ”を診断します。



#### 服装“見えやすさ”診断「見えチェック」の診断STEP



**STEP1: 撮影**  
グリーン背景で全身を撮影。



**STEP2: 解析・シミュレーション**  
距離と時間帯ごとの輝度を解析、見え方をデジタルイメージで再現。



**STEP3: 診断**  
服装の見えやすさをA/B/Cの3段階で判定した診断表をお渡しします。



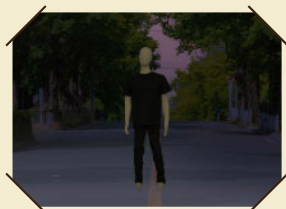
## ドライバーから見やすい“明るい”服装を心がけよう!

### 反射率の高いコーディネートが交通事故対策に!

白や黄などの明るい色は光をよく反射するため薄暮時間帯・夜間でも見えやすく、逆に黒や紺などの落ち着いた色は暗闇と同化して見えにくい服装です。明るい服装や反射材を着用することで、遠くからでもドライバーに気づいてもらいやすくなります。

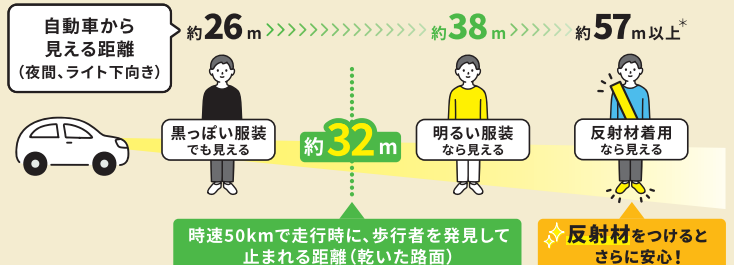


白 反射率 約93%



黒 反射率 約16%

※ 反射率は被写体の上半身(顔や肌露出部分を含む)の平均値を算出。  
※ 歩行者の背景によっても見え方は変化します。



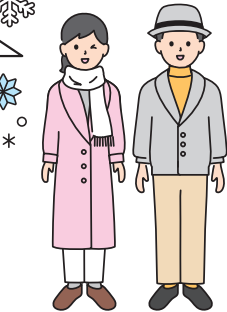
\*JPマークのついた製品によるもので、面積2.5cm<sup>2</sup>かつ117mcd/lux以上の反射材を使用の場合。  
参照元:一般社団法人 日本反射材普及協会ウェブサイト

### 冬に“明るい”服を上手に着こなすコツを紹介!

定番の小物も、明るい色のものを選べば新鮮に。ウールやフェルト、モヘア、スウェードなど季節感が出る素材を選べば、よいアクセントになります。タートルネックなどのインナーで、中に明るい色を差し込むのもおしゃれです。



明るい色で印象を手軽に変えられる、帽子やマフラー、手袋がおすすめ!



Winter coordinate

### 日常から反射材アイテムを取り入れていつでも交通安全を!

明るい服装を心がけるのももちろんのこと、反射材を身につけることで、薄暮時間帯・夜間のドライバーからの見えやすさは格段に向上します。

point!

反射材は、靴や足首付近に複数つけると効果的です!

ヘッドライトが下向きでも光があたりやすくなります。



JA共済特設サイト

「見えチェック」に関する詳細はこちら!



高齢ドライバードットコム

高齢ドライバーの安全運転対策はこちら!

